



世界歴史都市連盟

～その歩みと成果～

I 世界歴史都市連盟の始まり

当時の今川正彦京都市長は、世界文化自由都市宣言（1978年）を行った京都で、千年以上の歴史を有する世界の古都が集い、21世紀に向けて果たすべき役割を語り合う機会を持つことは大きな意義があるとの考えから、平安建都1200年記念事業の一つとして「世界歴史都市会議」を開催する構想を提唱（1985年）。

京都市の呼びかけにより、1987年に第1回世界歴史都市会議を京都市にて開催。参加した26都市を会員として協議会を設立。

フィレンツェ（イタリア）での第2回会議、バルセロナ（スペイン）での第3回会議を経て、1994年4月に第4回会議が再び京都市で開催されたことを契機に、従来の協議会を発展的に解消し、会議の継続開催を目的の1つとした「世界歴史都市連盟」を設立。以来、事務局は京都市に置かれ、京都市長が会長を務めてきた。

1987年 第1回世界歴史都市会議開催
1994年 世界歴史都市連盟設立
1996年 世界歴史都市連盟規約の採択
1997年 会費制導入（\$100／年）
1998年 公募により1,028の作品の中からロゴマークを決定



第1回会議参加都市と京都宣言の石碑



第4回会議（国立京都国際会館）

<過去の世界歴史都市会議>



第12回会議 開会式(奈良)



第16回会議 閉会式(ブルサ)



第18回会議 総会(安東)



第19回会議 閉会式(リュブリャナ)

<加盟都市数・役員都市>



役職	都市名	就任
会長	京都市	1994
副会長	西安市（中国）	1994
	コンヤ市（トルコ）	2010
理事	慶州市（韓国）	2005
	リュブリャナ市（スロベニア）	2014
	バート・イシュル市（オーストリア）	2018
	シーラーズ（イラン）	2018
	クラクフ市（ポーランド）	2022
監事	金沢市	2018

- 設立以来、4年ごとの役員改選で京都市長が会長に選ばれてきた。
- 地域バランス、活動への貢献度を重視した役員選出。
- 監事は近年、国内都市が務めている。

2 世界歴史都市連盟の意義と役割

(1) 課題解決に向けたノウハウの共有と世界平和への貢献

連盟は、歴史都市の更なる発展と世界平和の実現に向けた貢献をその設立趣旨とし、歴史遺産の「保存と開発」「継承と再生」など歴史都市が直面する課題の解決へ向け尽力してきた。歴史都市が英知を結集するプラットフォームの役割を有する。こうした国家の枠組みを超えた都市間の連携、知恵の共有により、世界の平和に貢献できることを目指す。

- 第12回会議では、ストラスブール市（フランス）から、優れた公共交通システムにおける都市計画の取組を学んだ。
- 第14回会議で京都市が「歴史都市のグリーン成長」について発表したことにより、会議後に揚州市（中国）及び奈良市から視察の申し出があった。
- 第18回会議で、安東市（韓国）のデジタル技術と伝統を融合した展示や公演を目にし、歴史都市の新たな転換期を実感する機会となった。

(2) 都市間交流の促進

連盟発足当初から加盟都市数は大幅に増加。連盟での交流をきっかけに、京都市はコンヤ市（トルコ）、フエ市（ベトナム）、イスタンブール市（トルコ）とパートナーシティ提携を締結し、台南市（台湾）とは交流推進協定を締結。また、京都市と会員都市との関係のみならず、会員都市同士の友好促進、協力関係の構築も活発に進んでいる。

(3) 地方創生と都市格の更なる向上

連盟設立当初の会員は、世界で観光地として名高い歴史都市が中心であったが、近年、世界において地方都市の活性化、観光客の分散化が重視されるようになり、地方の歴史都市の加盟が増加。連盟の活動を通して、京都市の理念や取組が広く世界に認知されると同時に、京都市が事務局や会長都市を務めることで、世界の歴史都市を牽引する役割を担い、国際都市としての存在感を高めることができる。

(4) 人材の育成

歴史都市の将来を担う若者の人材の育成のため、これまで世界各地で開催してきた世界歴史都市会議では、ユースフォーラムや青少年の絵画・動画コンテスト等を同時に開催。ユースフォーラムは、歴史都市に住む若者が、新しい視点から歴史都市を捉え、将来に向けての問題提起やそれに対する提案、意見交換を行う場に、また、コンテストは、作品の制作を通して若い世代が地域の歴史・文化を海外に向け発信する機会になっている。



第15回会議(バート・イシュル)



第18回会議(安東)



第19回会議(リュブリャナ)

3 世界歴史都市連盟の主な活動

(1) 世界歴史都市会議の継続開催

原則として隔年開催。次回開催都市は、理事会において、立候補都市のプレゼンテーションの後、投票によって決定する。第20回（2026年）会議は姫路市（日本）、第21回（2027年）会議はイスファハン市（イラン）で開催予定。 ※ 第21回会議は、第20回会議の翌年に開催するため、例外的に両会議の開催都市を2024年度理事会において選定した。



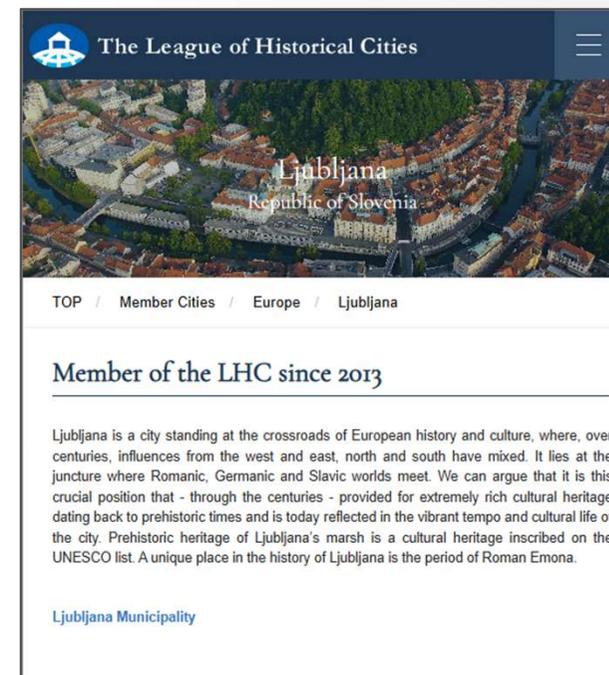
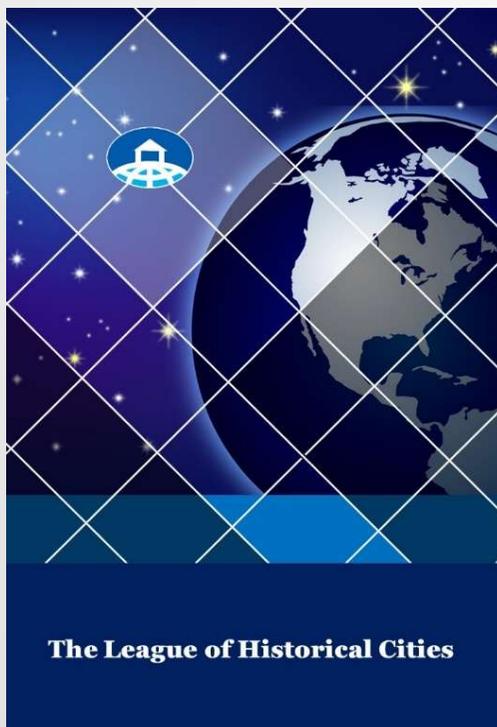
姫路市プレゼンテーションの様子



イスファハン市プレゼンテーションの様子

(2) 公式ウェブサイトを通じた情報共有

2019年に公式ウェブサイト（英語）の改修を行い、2020年1月に新サイトを公開。各会員都市の紹介ページの他、新着ニュース、会議情報、事業報告等を随時掲載。



- 会員都市情報
- 最新ニュース
- 世界歴史都市会議情報
- 刊行物（リーフレット、機関紙）
- 加盟申請フォーム

